

アマミマルバネクワガタ



マルダイコクログサネ



講演会

# 奄美大島の貴重な昆虫相

奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島は、2021年に世界自然遺産に登録され、2026年7月で5年を迎えます。この地域は、固有種や絶滅危惧種が数多く生息し、生物多様性が非常に高いことが評価されています。この「生物多様性」という言葉の意味を、みなさんはどのように理解していますか。

今回のワイルドライフセミナーでは、荒谷 邦雄 教授（九州大学 比較社会文化研究院）をお迎えし、奄美大島に生息する貴重な昆虫相についてご講演いただきます。クワガタムシをはじめとする昆虫類のお話を通して、生物多様性とは何か、そして奄美群島の生き物の豊かさとはどのようなものかを、分かりやすく解説していただきます。

世界自然遺産の価値である「生物多様性」について、深く学ぶことのできる貴重な機会です。ふるってご参加ください。

2026年 3月7日(土)  
17:00～18:00

奄美野生生物保護センター 企画展示室  
(鹿児島県大和村恩勝 551)

無料

事前申込不要

講師

九州大学比較社会文化研究院

荒谷 邦雄 教授

専門は昆虫学、生物多様性科学

1992年 京都大学大学院理学研究科博士課程修了

2024年 九州大学副理事・共創学部長 就任

2025年 大学院比較社会文化研究院長・大学院地球社会統合科学府長 就任

現在、奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島世界自然遺産地域科学委員会委員、環境省レッドリスト昆虫類分科会委員、同特定外来生物等分類群専門家グループ会合委員（昆虫類等陸生節足動物）などを務める

主催 環境省奄美野生生物保護センター  
問合せ先 0997-55-8620